

■コメント

1. インフルエンザ

定点当たり4.54人と、6週連続して減少しています。しかし、例年報告数が再び増加し、小規模な流行がしばらく続く傾向がみられるため、引き続き手洗い・うがいの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

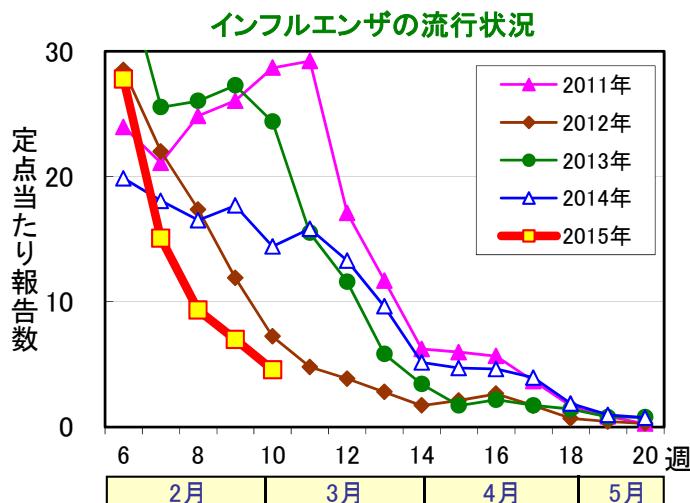
2. 感染性胃腸炎

定点当たり報告数は10.1人と、多い状態が続いています。また、感染性胃腸炎の集団発生が第10週に2件報告されています。集団生活の場では、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などの感染予防対策を特に徹底しましょう。

3. 流行性耳下腺炎

定点当たり2.42人と前週と比べて急増しました。流行性耳下腺炎は季節的変動があまりなく3~4年周期で流行する傾向があります。(次頁参照)

流行の周期から予測すると、今後さらに増加する可能性があり注意が必要です。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	168	4.54	15.16	↑	眼科	流行性耳下腺炎	58	2.42	0.83	↑
	咽頭結膜熱	2	0.08	0.31			RSウイルス感染症	1	0.04	0.16	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	2.88	1.49	△		急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	243	10.13	10.99	△		流行性角結膜炎	3	0.38	0.48	
	水痘	6	0.25	1.24		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	4	0.17	0.60			無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	
	伝染性紅斑	-	-	0.34			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34	
	突発性発しん	11	0.46	0.47			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	/	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.01							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↑↑	↓↓	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 (小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均
(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	5	18	女性(50歳代)・2人、男性(70歳代)・1人、女性(70歳代)・1人、女性(90歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			感染性胃腸炎(口覃タウイルス)																		
			インフルエンザ	咽頭結膜熱	球菌溶性咽頭炎	A群溶性胃腸炎	感染性水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSV	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ	クラミジア肺炎	
報告数	広島市	第6週	1,028	-	103	220	20	9	-	12	1	2	21	14	-	4	-	1	1	-	
		第7週	557	3	85	212	11	9	1	5	-	1	26	8	-	1	-	-	2	-	
		第8週	345	1	89	272	11	6	2	13	-	-	19	3	-	1	-	-	-	1	
		第9週	258	1	82	279	9	8	-	3	-	1	12	8	-	3	-	-	-	1	
		第10週	168	2	69	243	6	4	-	11	-	2	58	1	-	3	-	2	-	-	
定点当たり	広島市	第6週	27.78	-	4.29	9.17	0.83	0.38	-	0.50	0.04	0.08	0.88	0.58	-	0.50	-	0.14	0.14	-	
		第7週	15.05	0.13	3.54	8.83	0.46	0.38	0.04	0.21	-	0.04	1.08	0.33	-	0.13	-	-	0.29	-	
		第8週	9.32	0.04	3.71	11.33	0.46	0.25	0.08	0.54	-	-	0.79	0.13	-	0.13	-	-	-	0.14	
		第9週	6.97	0.04	3.42	11.63	0.38	0.33	-	0.13	-	0.04	0.50	0.33	-	0.38	-	-	-	0.14	
		第10週	4.54	0.08	2.88	10.13	0.25	0.17	-	0.46	-	0.08	2.42	0.04	-	0.38	-	0.29	-	-	
全国		第8週	8.26	0.31	2.88	7.54	0.50	0.30	0.30	0.43	0.01	0.02	0.30	0.45	0.01	0.40	0.02	0.02	0.20	0.01	0.31
		第9週	5.88	0.29	3.01	7.81	0.45	0.35	0.34	0.46	0.01	0.02	0.28	0.44	0.01	0.43	0.01	0.03	0.23	0.01	0.30

■新たに判明した病原体検出状況

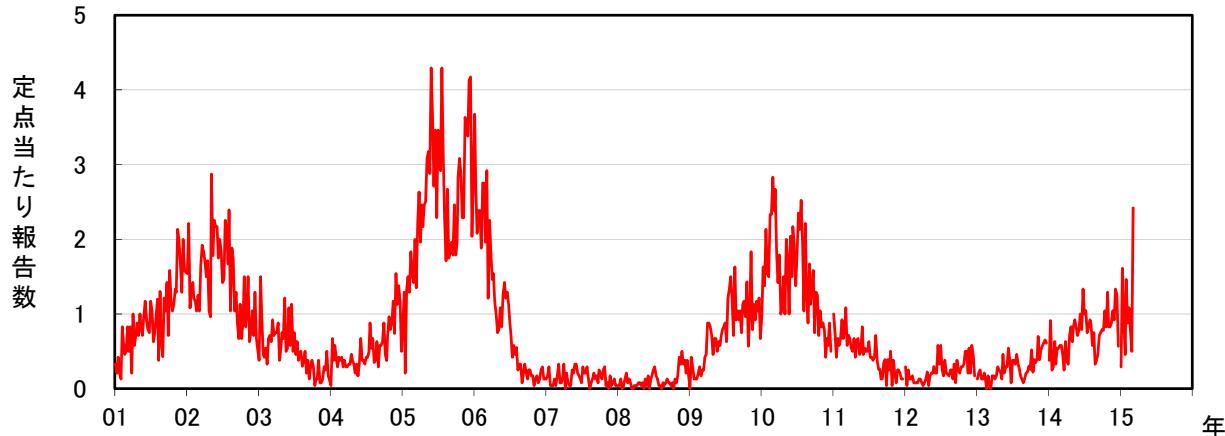
(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	インフルエンザ様症状	32	女	2015/01/14	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA型 亜型不明
その他の消化器疾患	血便 嘔吐 腹痛	1	女	2014/12/20	糞便	アデノウイルスNT

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における流行性耳下腺炎の最近15年間の発生動向

(2001年～2015年第10週)



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、ムンプスウイルスを病原体とする感染症で、接触、あるいは咳・くしゃみなどの飛沫により感染します。2～3週間の潜伏期間の後、耳下腺部(耳の下からあごにかけて)の片側または両側が腫れて痛くなるのが主な特徴で、多くは発熱を伴います。年齢別では4歳児の報告数が最も多く、3～5歳の年齢層が全体のほぼ半数を占めています。

流行性耳下腺炎は3～4年の周期で増減する傾向があり、広島市では2002年、2005年、2010年頃を中心に行いました。2014年より増加傾向で推移しており、今後の動向に注意が必要です。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp